

Ⅶ エコーガイド下CVC挿入推進チーム



エコーガイド下CVC挿入推進チームは、平成22年に複数科の医師と医療安全管理部との8名のメンバーで活動を開始した。28年度は、麻酔科・ICU・救命救急センター・内科・外科の医師12名、医療人育成センター1名と医療安全管理部3名、計16名のチームメンバーで活動、29年度からは医師が増え20名で活動を行う。

28年度は毎回約2時間の手技講習会（講義・ハンズオン・手技チェック）を4回実施、受講医師は27名であった。また卒後臨床研修センターの1年目研修医に3回手技講習会を実施し、49名、レジデント1名が受講した。また、今年度は「エコーガイド下中心静脈穿刺認定医カード」を7名に発行した。

中心静脈カテーテル挿入時の合併症調査を実施し、延挿入数2,050症例に対し、合併症は20症例（発生率1.0%）であった。また、認定医不在の場合にはチームメンバーが支援する体制を確立しており、20件の挿入、もしくは立ち合い依頼があった。依頼診療科は泌尿器科、整形外科、上部消化管外科などの計8科であった。

合併症発生時には医療安全管理部とエコーガイド下CVC挿入推進チームでミーティングを実施し、対応を協議した。

昨年、合併症発生率低下目的に導入したPICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）についてPICC挿入マニュアルを医療事故防止スタンダードマニュアルに掲載した。PICCカテーテルの推進に向け講習会を開催し、「PICC認定医カード」を4名に発行した。

Ⅶ-1 28年度穿刺部位別合併症

(件)

区 分	気 胸	動脈穿刺	血 腫	動脈穿刺腫	動脈カテーテル留	脈内カテーテル置	カテーテル入	カテーテル先端位置不適切	カテーテル先端位置不適切	その他	合計
内頸静脈	1	2	1					6			10
鎖骨下静脈								1			1
大腿静脈			2					3			5
その他			3								3
合計	1	2	6	0	0	0		11	0		20

Ⅶ-2 28年度診療科別穿刺件数と合併症

区 分	件数	合併症 (件)	発生率 (%)	区 分	件数	合併症 (件)	発生率 (%)
循環器内科	31			乳腺・内分泌外科			-
冠疾患内科	154	1	0.6	心臓血管外科	11		
血液内科	97			呼吸器外科	3		
リウマチ・膠原病内科	14			整形外科	4		
糖尿病・内分泌・代謝内科	1			形成外科			-
肝・胆・膵内科	22			脳神経外科	6		
消化管内科	88	1	1.1	皮膚科			-
炎症性腸疾患内科	170	2	1.2	泌尿器科	11		
呼吸器内科	14			産科婦人科	2		
神経内科	5			耳鼻咽喉科・頭頸部外科	36	1	2.8
腎・透析内科	55			放射線科	7		
小児科				麻酔科・疼痛制御科	470	1	0.2
N I C U				歯科口腔外科			-
肝・胆・膵外科	22			輸血・細胞治療科	36		
小児外科	4			ペインクリニック部			-
上部消化管外科	30	2	6.7	救命救急センター	388	6	1.5
下部消化管外科	33	1	3.0	精神科神経科			-
炎症性腸疾患外科	116			I C U	220	5	2.3
				合計	2050	20	1.0